

消費税引き上げに関する主婦の意識調査 結果発表

消費税の引き上げについて「賛成か反対かわからない」が20%。
 日本の財源確保のための引き上げを22%の人が受け止める反面、「何に使うの?」という意見多数。
 家計費で削るとしたら、1位「外食」(57.5%)、2位「食費(スナック菓子、洋菓子、和菓子)」(45.9%)、
 3位「レジャー費」(27.2%)

株式会社キャリア・マム(本社:東京都多摩市、代表取締役:堤香苗)は、全国10万人の主婦ネットワークを有し、コミュニティサイト(<http://www.c-mam.co.jp/index.php>)を運営しています。サイト内コンテンツのうちの一つ、「主婦と消費行動研究所」にて、消費税の引き上げに関するアンケートを実施しました。その結果を以下の通り発表します。

<アンケート概要>

実施期間:2019年6月24日~2019年7月7日

実施方法:インターネット上で、キャリア・マム会員を対象に実施(回答数 268人)

<アンケート結果 概要> ※アンケート結果詳細は、別紙ご参照ください。

- ◆ 消費税の引き上げに対して、賛成が22%、反対が58%、わからないとの回答が20%。
 「賛成」の理由は「社会保障制度の維持ならば仕方ない」「本音は反対だが、日本の将来を考えるとやむを得ない」
 「反対」の理由としては、「物価上昇の懸念」「景気悪化の懸念」
 「わからない」の理由としては、「増税した分が正しく使われるのか心配」などの声がありました。
- ◆ 消費税の引き上げによって、家計への影響があると考えている人は90%。
 「外食の機会を減らす」という声が多数。「すでに4月から働き始めた」など生活スタイルへの影響も。
 反面、影響がないと考えている人は、「2%で生活スタイルが変わるとは思えない」との回答でした。
- ◆ 消費税引き上げに対して対策をしている人が26%。主な内容としては、「生活費の節約」が60.9%、「前倒しで大きな金額の買い物を済ませておこうとおもう」が56.5%。その他の回答として「ポイント還元のあるキャッシュレス決済の検討」という声もありました。
- ◆ 家計のなかで節約する項目としては、1位「外食」(57.5%)、2位「食費(スナック菓子、洋菓子、和菓子)」(45.9%)、3位「レジャー費」(27.2%)でした。
- ◆ 働き方を変えよう(仕事量を増やす、転職するなど)という主婦は34.9%。現状維持が41.8%であり、6.9ポイント上回りました。
 その他の意見として「働き方を変えたいが、障害のある娘を育てているとパートに出られない」「扶養の範囲を超えると、実質的な収入が減ってしまうので増やせない」という声もありました。
- ◆ 軽減税率に関する知識が十分であると自覚している人が24%。
 おもに、「結局何が8%になるのかわからない」「買った後に気が変わってコンビニエンスストアなどのイトインスペースで食べたらどうなる?」「軽減税率になるものとならないものが細かい区分で紛らわしく、間違えやすいものについて詳しく知りたい。みりんとみりん風調味料が税率が違うらしい。」「トイレットペーパーのような日常消耗品も軽減税率の対象?」など。

(ご参考)

2014年2月に消費税が5%から8%に引き上げられる際にもアンケートを実施しました。結果は以下のURLをご参照ください。

<http://www.c-mam.co.jp/shufu-labo/research/e/001540.php>

<株式会社キャリア・マムについて・会社概要>

設立:2000年
 資本金:3875万円
 代表取締役:堤 香苗
 本社:東京都多摩市落合1-46-1 コリア多摩センター5階
 従業員数:33名
 事業内容 1) 全国10万人の主婦会員を活用したアウトソーシング業務の受託運営
 2) 官公庁より女性の再就業教育支援等の事業受託運営
 3) カフェ、コワーキング施設、保育施設の運営

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社キャリア・マム 広報室
 電話番号:042-389-0220
 メール:pr@c-mam.co.jp

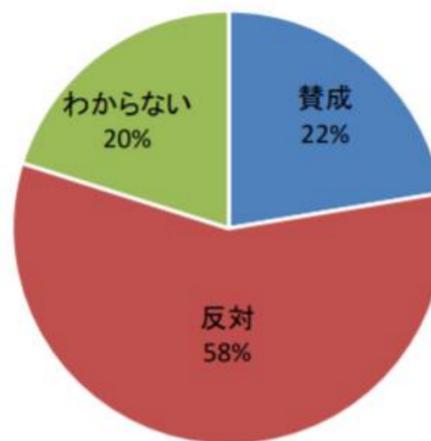
- ◆ 消費税の引き上げに対して、賛成が22%、反対が58%、わからないとの回答が20%。

「賛成」の理由は「社会保障制度の維持ならば仕方ない」「本音は反対だが、日本の将来を考えるとやむをえない」

「反対」の理由としては、「物価上昇の懸念」「景気悪化の懸念」

「わからない」の理由としては、「増税した分が正しく使われるのか心配」などの声がありました。

問1. 2019年10月、消費税率が現在の8%から10%に引き上がることとされています。このことについて、あなたは賛成ですか？ 反対ですか？



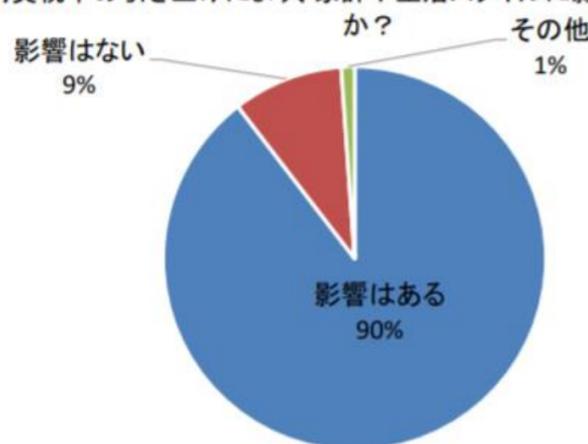
n=268人

- ◆ 消費税の引き上げによって、家計への影響があると考えている人は90%。

「外食の機会を減らす」という声が多数。「すでに4月から働き始めた」など生活スタイルへの影響も。

反面、影響がないと考えている人は、「2%で生活スタイルが変わるとは思えない」との回答でした。

問1-3.消費税率の引き上げにより、家計や生活スタイルに影響があると思いますか？



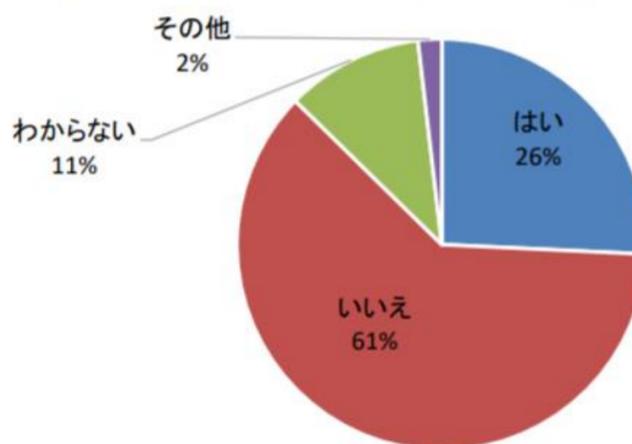
n=268人

- ◆ 消費税引き上げに対して対策をしている人が26%でした。主な内容としては、「生活費の節約」60.9%、「前倒しで大きな金額の買い物を済ませておこうとおもう」が56.5%。その他の回答として「ポイント還元のあるキャッシュレス決済の検討をする」という声もありました。

<その他の回答>

- ・引き上げ前にテレビとソファを購入予定
- ・消費税の計算がしやすくなるため、今後苦手だった家計管理を頑張りたい

問2-1.消費税率の引き上げに対して何か対策をしていますか？



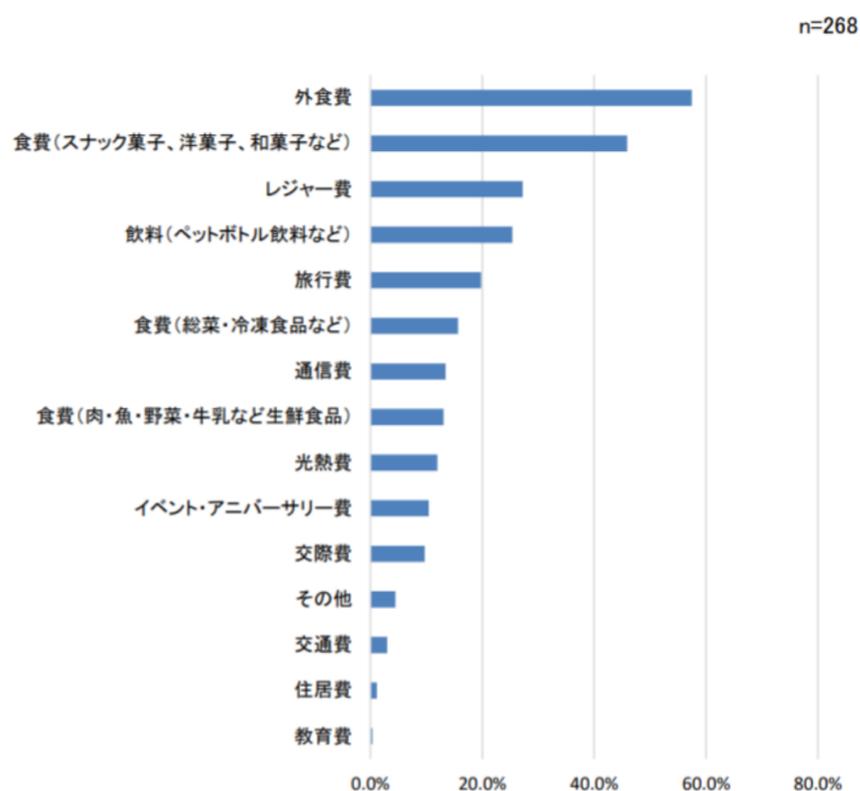
n=268人

- ◆ 家計のなかで節約する項目としては、1位「外食（57.5%）」、2位「食費（スナック菓子、洋菓子、和菓子）」（45.9%）、3位「レジャー費」（27.2%）でした。

<その他の回答>

- ・ビールを減らす
- ・被服費
- ・美容院費用
- ・すべて。
- ・以前からずっと節約しているので、これ以上は考えられません
- ・現金ではなくスマホ決済アプリなどの支払いにする
- ・子どもの歯列矯正
- ・どの項目もみんな少しずつ

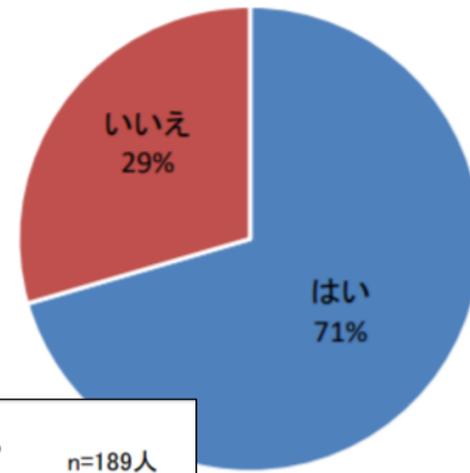
問3. もし節約するとしたら、どのような費用を節約できると思いますか？



n=268

- ◆ 働き方を変えよう（仕事量を増やす、転職するなど）という主婦は34.9%。現状維持が41.8%であり、6.9ポイント上回りました。
その他の意見として「働き方を変えたいが、障害のある娘を育てているとパートに出られない」「扶養の範囲を超えると、実質的な収入が減ってしまうので増やせない」という声もありました。

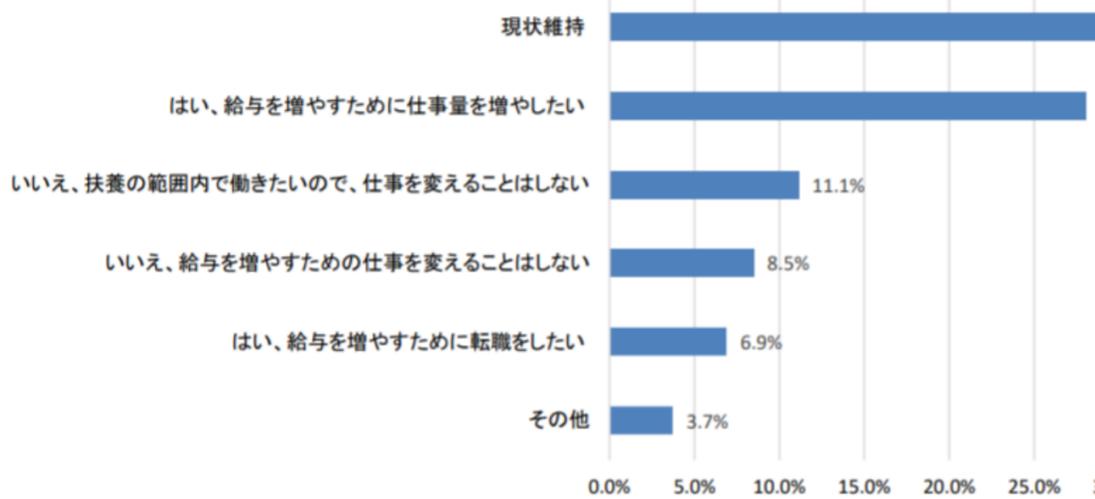
問4. あなたは現在、何かお仕事をしていますか？



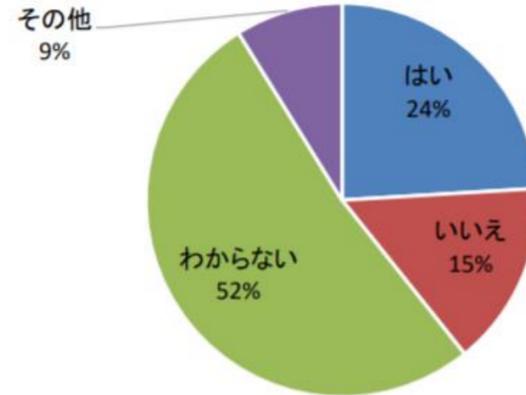
n=268人

問5-1. 問4にて「はい」と答えた方、消費税率が上がった後に、働き方を変える予定はありますか？

n=189人



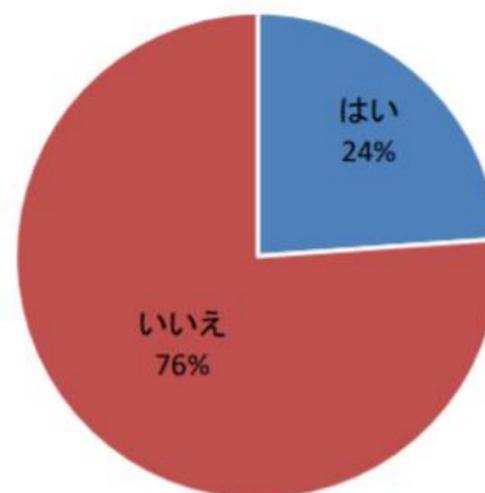
問5-2. 問4にて「いいえ」と答えた方、消費税率が上がった後に、働く予定はありますか？



n=79人

- ◆ 軽減税率に関する知識が十分であると自覚している人が24%。おもに、「結局何が8%になるのかわからない」「買った後に気が変わってコンビニエンスストアなどのイートインスペースで食べたらどうなる？」「軽減税率になるものとならないものが細かい区分で紛らわしく、間違いやすいものについて詳しく知りたい。みりんとみりん風調味料が税率が違うらしい・・・」「トイレットペーパーのような日常消耗品も軽減税率の対象？」など。

問6. 今回の消費税率の引き上げには軽減税率制度もあります。おもに飲食料品が対象で、テイクアウトか、外食かで税率が異なります。このような軽減税率制度を含め、今回の税率の引き上げに関して十分な知識はありますか？



n=268人

<グラフのご利用、全データに関するお問い合わせ、その他お問合せ>

株式会社キャリア・ママ 広報室
電話番号：042-389-0220
メール：pr@c-mam.co.jp